

病気の検査や治療するための
医療機器を作る会社です

株式会社 ジェイ・エム・エス

URL <https://www.jms.cc/>

広島市中区加古町12-17
TEL TEL 082-243-5844
FAX 082-243-5997
創業 1965年
従業員数 1,644人(2022年9月30日現在)

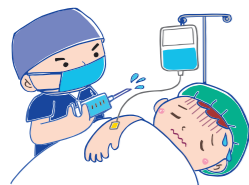
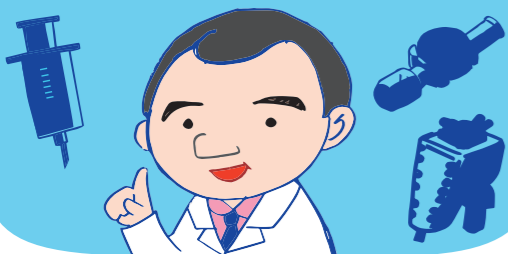


「かけがえのない生命のために」
安全で安心な医療機器を作っています

ジェイ・エム・エスを設立したきっかけは

医療機器は、病気やケガを治したり予防したりするとき、お医者さんや看護師さんが病院で使う道具や機械の事です。
健康で元気に毎日を過ごせることは幸せなことです。病気やケガをした時に、一日も早く健康になってもらえるよう、検査や治療をする医療機器を作ることが私たちの仕事です。

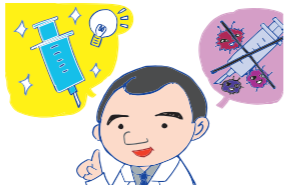
土谷太郎 物語



ジェイ・エム・エスの創業者の土谷太郎はもともと外科のお医者さんでした。



約50年前は治療に使った医療機器を洗って消毒して繰り返し使っていました。



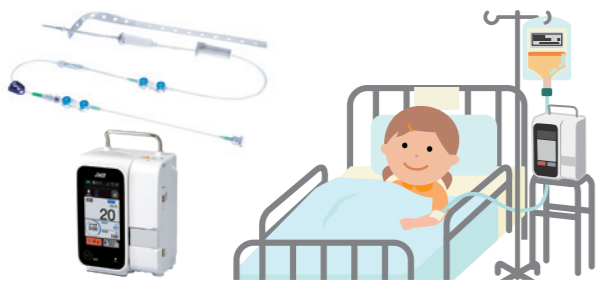
繰り返し使うことはよくないと思い、使い切りの医療機器を作る会社を作りました。



それがジェイ・エム・エスの始まりです。今ではいろいろな医療機器を作っています。

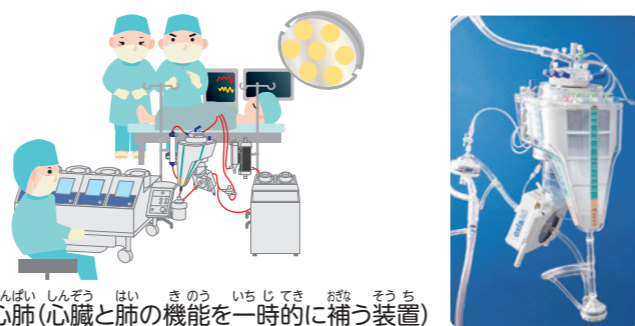
どんな医療機器を作っているの?

点滴



点滴セット、輸液ポンプ(薬を決まった量・速さで入れる)

外科手術



人工心臓(心臓と肺の機能を一時的に補う装置)

健康維持のお手伝い



ペコジーな

ペコジーになって何?

食べて飲み込むためには、舌の力が必要です。この力が弱くなると「ゴホゴホ」むせて病気になることがあります。

「ペコジーな」はスマホやタブレットを使ってゲームをしながら舌の力を鍛えることができます。

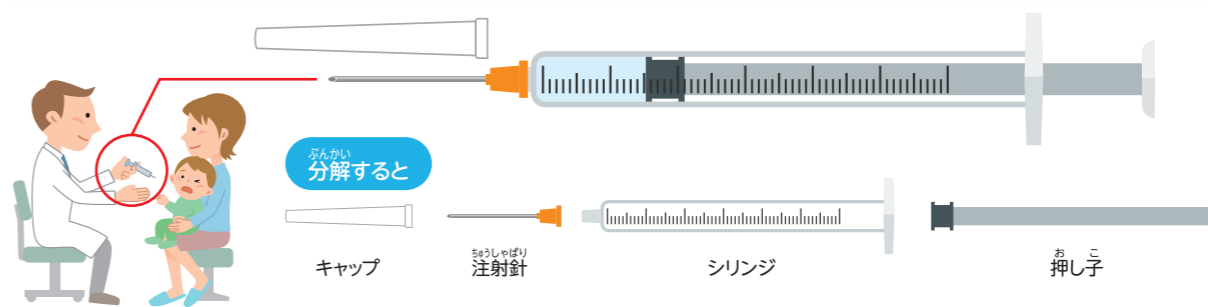


トレーニングの様子



魚釣りゲーム

注射器のしくみ

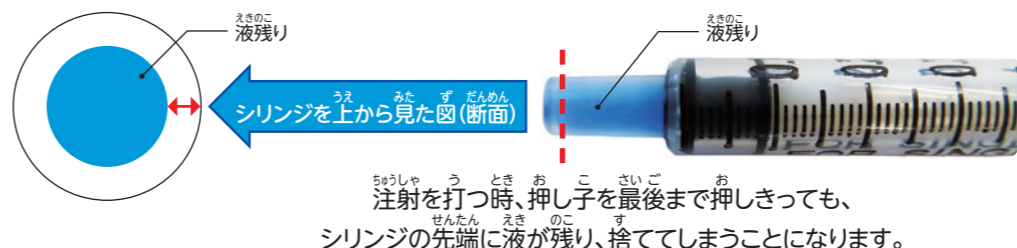


注射器は4個のパーツでできているんだね。



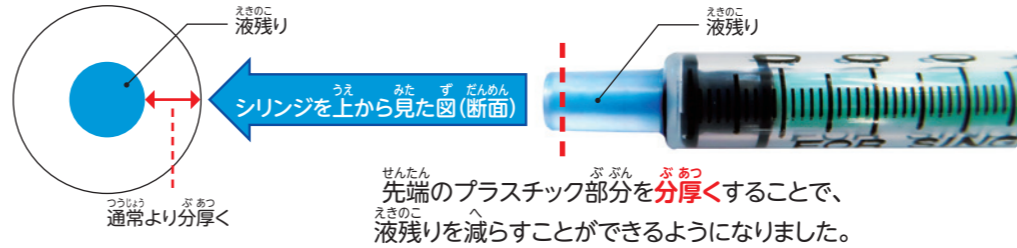
コロナ対策 ワクチン用注射器を開発しました!

通常のシリンジ



注射を打つ時、おし子を最後まで押しきっても、シリンジの先端に液が残ります。

開発されたシリンジ



先端のプラスチック部分を分厚くすることで、液残りを減らすことができました。

液残りが少ないとどうしてコロナ対策になるの?

シリンジの先端部分に残るワクチン液は捨てることになります。この残った捨てるワクチンの量を減らすことで、その分ワクチンとして使用できるようになります。より多くの方がワクチンを打てるようになるので、コロナ対策につながります。

捨てる液が少なくなれば、もっとたくさんの方がワクチンを打てるようになるね!



こんな人たちが働いています

私たちが作る医療機器は世界87ヶ国・90か国で販売しています。その海外グループと本사를繋ぐのが私の仕事です。それぞれ文化や言葉は違いますが積極的に交流を行い、信頼関係を築くことを大切にしています。



コーポレート本部 グループ統括部 大藤 恵美さん

製品を安定して医療現場に供給することが大切なので、トラブルが起きても原材料をきちんと確保できるように情報収集などには気を配っています。お客様に喜んでもらえることで、さらにがんばろうと励みになっています。



出雲工場 技術部 大住 和馬さん

この仕事の魅力

私たちが作った医療機器が使われて、病気や困っている人たちの大切な命が救われ、元気になってもらえることにやりがいを感じます。

私たちは、お医者さんや看護師さんのように病気の治療はできませんが、安全に使ってもらえる医療機器を作り、病院へお届けすることで、大切な命を支える医療に貢献しています。

